

全国学力・学習状況調査の結果と考察

平成31年4月18日に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果と考察をお知らせします。

◎学習の結果「平均正答率（％）」

	国語	算数
青木小	68	76
神奈川県との差	+7	+9
神奈川県	61	67
全国	63.8	66.6

◎各教科における領域等の正答率

国語 正答率	青木小	県	全国
話すこと・聞くこと	76.7	69.1	72.3
書くこと	60.0	52.7	54.5
読むこと	89.4	80.3	81.7
伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項	55.5	49.2	53.5

算数 正答率	青木小	県	全国
数と計算	74.3	63.3	63.2
量と測定	64.8	54.1	52.9
図形	81.8	76.6	76.7
数量関係	78.8	68.7	68.3

◎全国の結果と比較して結果に特徴のある問題

国語

- ・全国より大きく上回った問題

図表やグラフなどを用いた目的を捉える。

目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。

目的に応じて質問を工夫する。

- ・全国より下回っている問題

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。



算数

- ・全国より大きく上回った問題

2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の使用量の何倍か読み取ることができる。

加法と乗法の混合した整数と小数の計算することができる。

示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる。

場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる。

- ・全国より下回っている問題

台形について理解している。

◎学習意識の結果

※数値は「はい」「どちらかといえばはい」の合計（単位は％）

学習調査		青木小 (H31)	県	全国
①	算数の勉強は好きですか	79.2	68.8	68.6
②	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	83.7	77.8	76.5
③	国語の勉強は好きですか	77.4	64.3	64.2
④	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	81.1	69.1	68.5
⑤	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	73.8	77.2	77.7
⑥	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか	63.9	77.9	80.9

◎学習意識の考察

- ①②「算数の勉強が好きだ」という児童の割合は、県・全国平均を上回っている。日頃から、学習内容を日常生活で活用できないか考えたり、実践したりして、算数のよさを実感しているからだと考える。
- ③「国語の勉強が好きだ」という児童の割合は、県・全国平均を大きく上回っている。朝の時間などで読書の時間を確保したり保護者による読み聞かせを続けたりし、本など活字に触れてきた成果だと考える。
- ④⑤⑥「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」、「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか」という児童の割合は、県・全国平均を下回っている。自分の思いや考えをもつ指導をしていくことで、国語で身に付けた表現の工夫を様々な場面で活用できると考える。

◎生活意識の結果

※数値は「はい」「どちらかといえばはい」の合計（単位は％）

生活調査		青木小 (H31)	県	全国
①	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	51.3	34.1	29.3
②	自分には、よいところがあると思いますか	88.2	81.0	81.2
③	新聞を読んでいますか	31.5	17.7	19.0
④	今住んでいる地域や行事に参加していますか	75.6	62.2	68.0
⑤	地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがありますか	57.6	53.6	54.5
⑥	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	76.6	80.7	81.4
⑦	学校のきまりを守っていますか	88.3	91.2	92.3

◎生活意識の考察

- ①「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という児童は、県・全国平均を大きく上回っている。このことは、学力状況調査の結果に表れている。
- ②自分にはよいところがあると思う児童の割合は、昨年度より上回っている。さらに、県・全国平均と比較しても、大きく上回っている。縦割り教室配置にしたり、縦割り活動などを充実させたりして、よさや有用感を引き出すような支援したことが、自己肯定感の向上につながったと考える。
- ③④⑤「今住んでいる地域や行事に参加している児童や、地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある」、「新聞を読んでいる」という児童の割合は、県・全国を昨年度に引き続き上回っている。このことは、青木のまちの風総会や青木の時間等で、地域の方と関わったり、話を聞いたりすることが多いことが理由の一つに考えられる。今後も、継続して地域とのつながりを持ち、青木のまちの一員として自分になにができるのかを考えられるようにしていく。
- ⑥「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」という児童は、昨年よりも上回っているが、県・全国平均は下回っている。家庭とも協力し、基本的な生活習慣を確立していくことが大切。
- ⑦「学校の決まりを守っている」という児童の割合は、県・全国平均を下回っている。縦割り活動での他学年との交流を通して、高学年としての意識を高めていきたい。学習意識調査の項目⑥「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思う」という児童の割合が、県・全国平均を下回っていることから、道徳的心情や態度の育成と併せて指導に力を入れていきたい。